



東京部会(第9回)

日時: 2008年2月8日(金)19:00-21:15

場所: 日本大学経済学部3号館(図書館)4階会議室

参加者: 加藤(日大)、篠原(同志社大)、猪瀬(弘前大)、梶ヶ谷(県立海老名高)、新井(都立西高)、三枝(目黒中央中)、杉田(千葉西高)、高橋(都立拝島高)、力丸(横浜市立市場中)、鈴木(日本経済教育センター)、宮尾(国際大)[順不同]

【内容要旨】

まず会議に先立ち、以下の資料が配布された。

「2008年1月実施センター試験問題」(新井)、「現代社会—指導資料を読んで」(宮尾)、「経済教育ネットワーク東京部会資料A、B」(三枝)、「平成19年度・選択社会授業研究レポート」(力丸)。

最初に、篠原先生より今年の活動について日程と内容の提案があり、議論した結果、以下の点が決定された。

- (1)シンポ(一般向け):7月5日(土)於日大:著名人の講師と教員の交流等金融教育団体を多数招いてネットワークとしての存在感を示す等の案検討
  - (2)高校教師用研修:8月4-5日、於大阪、午前1テーマ、午後2テーマ程度  
8月11-12日、於東京、内容、教材作りも含めて至急検討
  - (3)年次大会:9月6日(土)於同志社大:内容は関西グループに検討を要請
- 以上の詳細をできるだけ早く詰めて、遅くとも次回の東京部会で決定する。

さらに今後の教材作りに役立てるために、配布資料の説明と議論があった。

- 新井:先日のセンター試験(現社)で、考え方を試す問題もあったが、主に記憶を試す「知識問題」が中心で、それが教材や教え方にも影響する恐れあり。
  - 宮尾:「現代社会—指導資料」(東書)を読み、経済の内容の偏りや誤りには根深い背景があるようだが、それを乗り越えて役立つ教材作りを目指すべき。
  - 篠原、猪瀬:以上の点に関連して、前回配布した栗原先生の資料にあった経済命題の合意度についての英文論文を検討し、日本でも合意度の調査をすべき。
  - 三枝:「東京部会配布資料」の(B)で、各項目についての「生徒の視点の発問」が非常に適切で教材作りの参考になる。
  - 力丸:「選択社会授業研究レポート」にある「企業競争の役割」で教科書と「出前授業」の内容(視聴覚教材、アクティビティ・ロールプレイング)が見事にリンクしている点、また「マック対モス」では生徒たちに実際に会社の商品などを調べさせて、レポートを発表させることで成果が上がる点に注目。
- 以上をすべて参考にして、教材作りに活かしていくべきという結論となった。

(文責:宮尾尊弘)

次回開催予定: 3月18日(木)19:00-21:00、日大経済学部3号館(図書館)4階会議室